

上越の狂歌界 直江津のべらぼう を探せ

直江津今町が生んだ天才狂歌師千代垣素直を発見
狂歌研究の第一人者・東北大学名誉教授

講師 **高橋章則**先生



東北大学の高橋先生は、平成23年東日本大震災の年、狂歌師千代垣素直の墓が五智の国分寺境内にあることを見つけ出しました。墓は明治時代、佐田介石という別の人物の墓を建てるために土盛りの下に落とされていましたが、国分寺ご住職のご理解を得て、平成25年、ひきあげて元に復されました。写真は、右・復元された碑 中・倒されていた碑江戸時代の「東講商人鑑」の載っている千代垣の碑

地域文人発掘ツールとしての「狂歌」

東北大学アジア研究センター コラムより

19世紀の日本には「狂歌」の作者たちが多く存在しました。

「狂歌」の作品作りには幅広い「知」的情報の確保が不可欠で、和・漢の古典の知識は「書物」を通じて、地理的な知識は書籍ばかりではなく「浮世絵」などをフル活用して、他の作者とは異なった着想が作品に込められました。「狂歌」というと政治・社会風刺の「落首」をイメージする向きがありますが、それは誤った教科書的な知識です。

さて、狂歌作者たちの一年の行事は、①毎月勉強会である「月次会」での「判者」(指導免許保持者)による作品講評・添削とその成果をまとめた「月次集」の作成、②全国組織「側」が主催し刊行する「月次集」や記念作品集(「追悼集」や判者資格獲得「披露集」など)への応募、③社寺などへ作品額を奉納する「奉額」、④年始の挨拶代わりに浮世絵に自作を取めた印刷物(「狂歌摺物」)の作成・配布などからなります。

高橋先生の専攻 日本近世思想史 「江戸の転勤族 代官所手代の世界」(平凡社選書)他著書多数

日時・令和7年9月21日(日) 13時30分開場・14時開演

会場・ライオン像のある館(旧直江津銀行)上越市中央3-7-31

席数・30席(入場無料・ご入場できない場合があります)

※車の場合は船見公園駐車場をご利用ください

問合せ まちおこし直江津 佐藤 090-4373-4066

